Yokohama　Rosai　Hospital

横浜労災病院　広報誌

労災だより

２０２０－Oct

Ｎｏ．20

「がん遺伝カウンセリング」を開始しました

地域がん診療連携拠点病院として、より質の高い先進的ながん診療・ケアが提供できるよう取り組んでいます。

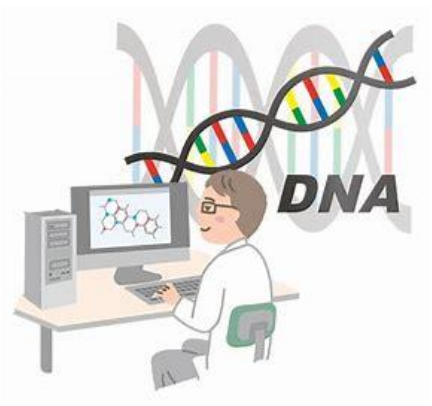
腫瘍内科部長　有岡　仁

多くの研究によってがんと遺伝子異常の関係が明らかになっており、がんの遺伝子に関する研究と診療（がんゲノム医療）の時代が始まろうとしています。全国でくまなくがんゲノム医療を必要とする患者が検査を受けられる体制を構築するため、がんゲノム医療に関する高度な機能を有する「がんゲノム医療中核拠点病院」や「がんゲノム医療拠点病院」が指定されています。

また、中核拠点病院や拠点病院と連携してがんゲノム医療を実施する「がんゲノム医療連携病院」も全国で整備されつつあり、当院も指定を受けることを目指して多職種によるプロジェクトチームを立ち上げ、院内の体制を整備してきました。

がんゲノム医療連携病院の申請にあたり、特に「情報相談窓口の整備」、「遺伝カウンセリングの実施、遺伝カウンセラーの配置」ついて整備し、2020 年 7 月よりがん遺伝カウンセリング外来を設置しました。

当院には遺伝カウンセラー資格保有者が不在であるため、現在は月 1 回（第 4 水曜日午後）のみ聖マリアンナ医科大学病院よりカウンセラーを招聘し、カウンセリングを実施しています。カウンセリングには、がん看護専門看護師や臨床心理士・公認心理師も同席し、必要に応じて多職種で支援できるようにしています。



遺伝カウンセリングの対象となるのは、現在は主として *BRCA* 遺伝子変異に対する薬剤適応を調べるための遺伝学的検査の結果、遺伝子変異が判明した患者の対応や血縁者への伝え方などに関する相談です。特に、乳がんや卵巣がんの患者で *BRCA* 遺伝子変異による遺伝性乳がん卵巣がん症候群と診断された場合に、家族の早期発見のための検診方法やリスク低減手術（予防的な乳房切除や卵巣卵管切除）について相談する必要があります。リスク低減手術については、2020 年 4 月より保険収載されたため相談件数が増加することが予想されます。

今後は、遺伝学的検査を受けるがん患者だけでなく、遺伝子を共有する血縁者に対するカウンセリングや検査を実施する体制についても検討することが課題です。

地域がん診療連携拠点病院として、より質の高い先進的ながん診療・ケアが提供できるよう取り組んでいます。

【横浜労災病院　がん遺伝カウンセリング】

日程：毎月第４水曜日

時間：13：30～17：00（新患３枠、院内紹介のみ）

担当：遺伝カウンセラー（非常勤）

対象：薬剤適応を調べる遺伝学的検査の結果、遺伝子変異陽性と診断されたがん患者（主に *BRCA* 遺伝子）

内容：遺伝子検査結果、今後の健康管理（検診やリスク低減手術）、血縁者への伝え方など

文責：腫瘍内科部長　　有岡　仁

がん看護専門看護師　大椛裕美

当院平澤副院長が講演いたします

港北区三師会（港北区医師会・港北区歯科医師会・港北区薬剤師会）、港北福祉保健センター主催による区民公開講座「正しい感染対策～三師会からのメッセージ～」にて、当院の平澤副院長・血液内科部長が講演いたします。今回の公演会は新型コロナウイルス感染防止のためオンラインにて開催され、講演内容は港北区のホームページにて動画配信されます。詳細につきましては、港北区のホームページにてご確認下さい。

【講演内容】（※内容は変更となる場合があります。）

①港北区医師会　平澤　晃

テーマ「いま気を付けたいウイルス感染症への準備」

②港北区歯科医師会　片山　繁樹

テーマ「コロナ時代の歯科診療～歯科医院での感染症対策について～」

③港北区薬剤師会　福井　順也

テーマ「消毒薬の使い方～あなたは正しく使えていますか？～」

【動画公開】

１１月２日（月）１２時　から　１２月２８日（月）まで　公開予定

小児外科部長に就任いたしました

地域の皆様の「小児外科医療」に貢献できるよう、全力を注いで参ります

小児外科部長　菅沼理江

この度、小児外科部長に就任いたしました　菅沼　理江（すがぬま　りえ）と申します。地域の皆様の「小児外科医療」に貢献できるよう、全力を注いで参ります。どうぞ、小児の外科的診療を必要とする患者様がいらっしゃいましたら、当院をご紹介くださいますようお願い申し上げます。

小児外科はこどもセンター（小児科・新生児科）の一部として、外来・入院診療をおこなっております。小児鼠径ヘルニア・陰嚢水腫、停留精巣・移動性精巣など外科的疾患だけでなく、乳児臍ヘルニアに対する圧迫療法や乳児痔瘻、習慣性便秘なども積極的に受け入れております。24 時間 365 日応需の小児救急に小児外科として対応いたします。鼠径ヘルニア嵌頓、急性虫垂炎、腸重積症、外傷、異物など救急疾患も当院こどもセンターにご連絡いただけますと幸いです。

出身は横浜市で、横浜共立学園高等学校、昭和大学医学部を卒業後、昭和大学小児外科に入局いたしました。亀田総合病院で研修の後、小児外科専門医を取得、Children’s Hospital Los Angeles で神経芽腫の研究をいたしました。昭和大学で小児外科医療に従事した後、家族の転居に伴い JCHO 秋田病院で成人外科診療を行う傍ら、秋田大学小児外科兼任講師として小児外科診療も継続して研鑽して参りました。現在は、昭和大学小児外科兼任講師、日本小児外科学会専門医・日本外科学会指導医として将来の小児医療を担う研修医の指導も積極的に行ってまいります。

手術適応、手術方法、代替療法など、お子さまとご家族にやさしく丁寧な説明、安心・安全な医療を心がけています。こどもの身体的・精神的苦痛を低減し、ご家族様にも満足していただける心のこもった温かい医療の提供をお約束いたします。外科的治療が終了いたしました際は、ご紹介いただきました医療施設様に患者様の経過をご報告させて頂きます。不明な点や、ご要望などございましたら、ご意見を頂戴できますと幸いです。

今後も、皆様と一緒に小児の地域医療を守っていきたいと考えております。地域の未来にとって大切なこどもの外科的疾患は、是非当院をご紹介くださいますようお願い申し上げます。

外来日：火・水・木の午前（予約制）

手術日：月曜の午前

（鼠径ヘルニア・臍ヘルニア・停留精巣は 2 泊 3 日）

当院へのご紹介方法について

◎地域医療機関からの診療予約

登録医療機関（地域医療連携室）

登録医予約専用電話　☎ **045-474-8362**（平日　8：15～19：00）

045-474-8344

登録医療機関でない場合（予約センター）

☎ **045-474-8882**（平日　8：15～17：00）

◎緊急で受診が必要な場合（地域医療機関から）

診療科が明らかな場合

①診療科医師に直接相談する場合

☎**045-474-8111**（病院代表）へ連絡し、交換手に

「救急患者紹介のため、〇〇科の本日の担当医につないで欲しい」とお話下さい。

②地域医療連携室を経由する場合

☎**045-474-8345**（直通）

診療科が不明な場合

☎**045-474-8111**（病院代表）へ連絡し、交換手に

「救急外来につないで欲しい」とお話し下さい。

横浜労災病院　横浜市港北区小机町 3211　TEL　045-474-8111